

第13回「淀川水系ダム事業費等監理委員会」の議事概要について

1. 開催日時：令和元年10月29日（火）13：30～15：00
2. 開催場所：TKP ガーデンシティ京都 7階 橋
（京都府京都市下京区烏丸通七条下ル東塩小路町 721-1 京都タワーホテル）
3. 委員：岸田 潔（京都大学大学院工学研究科 教授）
角 哲也（京都大学防災研究所水資源環境研究センター 教授）
野村 良一（立命館大学経済学部経済学科 教授）
箱石 憲昭（国立研究開発法人土木研究所 水工研究グループ長） [欠席]
◎深川 良一（立命館大学理工学部 特命教授）
◎印は委員長（50音順・敬称略）
4. オブザーバー： 滋賀県・京都府・大阪府
5. 委員会開催の経緯：
 - ・天ヶ瀬ダム再開発事業について、前回の委員会で「可能な限りコスト縮減案の検討を行うこと」、「増額要因及び金額を精査し、委員会で報告すること」などの意見をいただいた。
 - ・コスト増加要因やコスト縮減方策について、各委員への個別の相談を重ねて行った。
 - ・委員からの指摘を踏まえ、金額や内容を精査したものを報告し、更なる助言を得る。
6. 議事概要：

委員会は委員4名の出席により、天ヶ瀬ダム再開発事業について、事業費増額項目やコスト縮減項目等の説明を行い、各委員より意見及び助言を頂いた。

<天ヶ瀬ダム再開発事業について>

- ・増額要因及び金額については妥当であると考えられるが、引き続き適切な事業監理に努められたい。
- ・安全性に配慮した施工を行うこと。
- ・施工上必要となる目標を達成できるよう留意すること。
- ・不確実性についてはモニタリングを基に最適化を図ること。

（以上）